

白川静博士没後十年企画 記念講演会

漢字と書

- 日中韓のはざまと女性 -



書家：華雪（かせつ）

1975年京都府生まれ 書家
立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業
1992年より個展を中心にした活動を続ける（文字を使った表現の可能性を探る）ことを主題に国内外でワークショップを開催
舞踏家など他分野の作家との共同制作も多数

（写真：志鎌康平）

白川静博士没後十年企画として、日中韓に関する女性研究者による鼎談を開催します。三カ国における漢字事情や白川文字学などについて、楽しい語らいをお聞きください。また、華雪氏には漢字への理解や思いを込めた書の揮毫実演をしていただきます。

背景：古代文字（白川静先生直筆色紙より）

入場無料
申込不要

2017年12月16日 [土] 11:00-13:00

立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム



張 莉（ちょうり）

1968年生まれ 中国天津市出身
大阪教育大学教育学部特任准教授
白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員
書道文化・中国語を教える傍ら漢字を中心とする中国・日本の文化史を研究している



金津 日出美（かなづ ひでみ）

1968年三重県生まれ
韓国新羅大学校専任講師・高麗大学校副教授を経て
立命館大学文学部准教授
日中韓の学生に日本文化を教える一方、近代東アジアを移動した人びとの貧困・抑圧・病いについて研究している

【問合せ】立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所事務局 TEL 075-465-8225

主催 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所
共催 立命館大学男女共同参画推進リサーチライフサポート室

白川静博士没後十年企画

第3回 「文字講話」 特別上映会

白川静先生が1990年から2004年に亘って行われた連続講演「文字講話」の映像を上映いたします。

全24回、毎月一話(予定)

【会場】

立命館大学衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書館
カンファレンスルーム(定員80名)

【日時】

2017年12月23日(土)

11:00~13:00

第三話 身分と職掌(1999.9.12講演)

白川静「文字講話」DVD(方丈堂出版)より



入場無料・事前申込不要

※当日の入場状況によって、入場制限させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

第4回 1月27日(土) 第四話 数について

第5回 2月24日(土) 第五話 自然と神話

今後の白川静博士没後十年企画

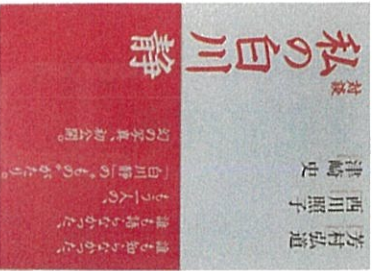
◎2018年1月13日(土)13:00~15:00 創思館カンファレンスルーム
連続公開講座『甲骨文(卜辞)を通して殷代社会に分け入る』第3回
—古代殷王朝の宗教的な社会秩序—
講師 高島敏夫(白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員)

問合せ：白川静記念東洋文字文化研究所事務局 TEL 075-465-8225

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

中国 古代文学 / 甲骨文・金文 / 「詩経」 「万葉集」 の比較研究
白川静 没後十年記念出版

対談 私の白川静



編者：立命館大学白川静東洋文字文化研究所
対談者：津崎史（白川静 長女）・西川照子（編集者）
司会：芳村弘道（立命館大学文学部教授）

あまりにも有名になってしまった「白川文字学」。
しかし、実は私たちがその本当の姿を知らない。
この本は本物の「白川文字学」への案内書である。

「こんなやさしいのはおらんぞ」という
白川静の肉声が聞こえる。

初公開の
写真には貴重



対談という、かるやかな語りから生まれる

「もう一人の白川静」

【刊行】二〇一七年十月三十日（月）

※ 書店にてお求め下さい。

※ 定価（本体九二六円＋税）にて販売中。

※ 白川研究所が主催する講座・講演会・シンポジウム等の会場でもご購入いただけます。

発行 エデインシオン・アルシーヴ
〒614-8117
京都府八幡市川口西扇24-9
電話・FAX 075-874-1359

- 序章 「白川静」の掌に乗る―遊べ、遊べ、遊べ―
- 第一章 歌 白川静が歌う―神への申し文
- 第二章 笑 白川静が笑う―親爺キヤダ
- 第三章 神 白川静が恋う―母恋し
- 第四章 巳 白川静が書く―ト文・金文
- 第五章 遊 白川静が楽しむ―「孤独」の喜び
- 終章 白川静先生を想う―桂東の教え